成24年度

財政環境は厳しい状況にあります。

収入全体では減少する見込みで、

予算総額 680億1,120万円 前年度比 0.7%增

·般会計 379億5,000万円 前年度比 0.6%減

特別会計 277億6,153万円 前年度比 1.8%增

特別会計の 内訳

特別会計名	当初予算額
国民健康保険	131億955万円
介護保険	92億4,164万円
簡易水道事業	1億5,036万円
公共下水道事業	33億7,252万円
小規模下水道事業	7,225万円
港湾上屋事業	5 5 7 万円
ひうち地域振興整備事業	1億6,371万円
土地開発事業	267万円
小松地域交流事業	2億2,749万円
本谷温泉事業	2,946万円
住宅新築資金等貸付事業	437万円
畑地かん水事業	2,730万円
庄内財産区	296万円
壬生川財産区	3 2 4 万円
後期高齢者医療保険	13億4.844万円

企業会計 **22億9,967万円** 前年度比11.0%増

350万円

736万円

290万円

企業会計の 内訳

▼防災対策の推進

○災害に強いまちづくり研究事業

○災害対応備品等整備事業

○防災通信システム構築事業

○東日本大震災被災地視察研修事業

企業会計名	当 初 予 算 額
水道事業会計	17億620万円
病院事業会計	5億9.347万円

産税と法人市民税が減収となるなど、 たばこ税などが増収となるものの、 このような情勢のもとではありますが 平成23年のGDPがマイナス 依然として厳しい状況にあり 輸出が減少するなど 欧州の債務危機と 個人市民税や市 前年度 引き続き 固定資 が輝く ています。 要施策に積極的に取り組む予算編成を行っ 組んでいく必要があります。 な財源配分に一層努め 急度の高い施策を厳選し、 子育て環境の充実など、 条農業革新都市推進事業に要する経費をは 新年度の予算編成に当たりましては、 0) 防災対策の推進、 確保に努めるとともに、 快適環境実感都市」 「人がつどい、

ます。

成長となり、 の影響から、 歴史的な円高に伴

最近の我が国経済は、

当初予算額と比較すると、

こうした中、

市税については、

緊急かつ懸案の 医療·救急体制 の実現に取 重要かつ緊 まち B 西

▼医療体制の充実

○休日夜間急患センター整備・管理運 1億4,315万円



(休日夜間急患センターイメー

▼救急体制の充実

○東消防署橘出張所整備事業

8,491万円

▼保健・医療の充実

ワクチン接種事業

9,337万円

○妊婦健康診査事業

7,864万円

般会計の主な事業

▼未来都市モデルの構築

○西条農業革新都市推進事業

1,000万円



▼産学官連携の促進

○フィールド大学事業

315万円

▼都市基盤の整備

○船屋王至森寺線道路改良事業

3億5,808万円

▼新エネルギーの活用促進

○住宅用太陽光発電システム導入促進 事業 6,367万円

